

会山行報告書

通算山行No	N0・245a	報告者	後藤隆徳
年月日	2002年11月22日(金) p.m~23日(土)		
山名	富士山・吉田口(3730m)	体力度=5・技術度=5・自然度=3	
<b>いつ上っても苦しい山だが 今年も上ることが出来た</b>			
コースと タイム	/22(晴) 富士15:00-佐藤小屋17:00(車中泊) /23(雪) 起床3:30-佐藤小屋発5:00-頂上9:10~20 -佐藤小屋12:00		
標高差	佐藤小屋2220m~吉田頂上3730m=約1500m		
今日の ひと言	後藤隆徳(55)=年齢とともに苦しくなる。60までヤレるか? 加藤秀子(53)=やっぱりこの時期の富士は最高だ!		

22日/会報を交換している仙台の朋友会が9名やって来た。早朝、仙台を出て15時に佐藤小屋前にテントを張った。

私達も「桜エビ」と富士宮の銘酒「麗峰美人」を携え五合目に駆けつけた。到着するなり朋友会のマドンナ石塚千代さんがテントから飛び出し歓迎。3月以来の再会だ。すぐテント内で大交流会が始まった。しかし、明日は早いので下山後に期待で19時切り上げた。

23日/昨夜は結構風が強かった。5時丁度出発する。朋友会は人数が多く少し遅れる。ヘッドランプを点け歩く。ここから最初の小屋まで長い。嫌な所は暗い内、歩いた方がいい。

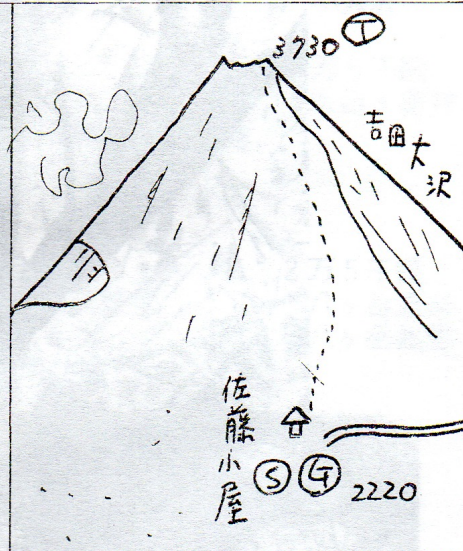
だけど今年は雪が少ない。佐藤小屋まで車で入れる年はそう多くない。八合からアイゼンを履いた。ここにテン泊者の荷物があつた。後で分かったが知り合いだった。

前方に3人組がいた。テン泊隊のようだ。8時頃から気持ち悪い雲が流れる。頂上をクラゲみたいな雲が覆って下降してくる。やがて雪が舞ってきた。でも風は無いので有り難い。

一気に頂上に達した。昨年は悪天候で上れなかったのが2年振りだ。さっきの3人組がいた。どこかで見た方だと思ったらヒマラヤで世話になったガイドの志小田氏だった。よく会う。今年は上ノ廊下の帰りにも会った。

剣ガ峰は止め早目に下る。45分程下った所で朋友会がやってきた。男性の最高年齢が57歳、女性が59歳だった。結局、私達より1時間半遅れたが全員登頂した。立派。たいしたものである。

志小田氏と下る。八合に客2名と泊まったのは彼だった。「大」を尋ねてみた。持参しなかった、との事。彼は日本でも有数の「日本アルパイン・ガイド協会」のガイ





ドだ。最も名誉があり、最も登山者の指導的立場にある人間がこれだ……。残念だった。認識不足と言えばそれまでだが、協会内でもそれは話題にもならないと言う。今は早池峰、四国・三嶺（みうね）では「他人の大」を下ろしている。手前の「糞」位、自分で下ろせて言うーの！山でメシを喰ってるのに！

しばらく下ると今度は今夏、上ノ廊下で世話になった仙台山岳会のCLに会った。礼状の住所が不明で困っていた所だったので良かった。その先で今度は栃木・野木山想会の仙石さんとバッタリ。まあ、この時期沢山の人が来るので……。

宝永山に上り先に河口湖「湯～園」に向かった長岡、来生、笠間と合流し、やがて朋友会も下山し再び交流会で盛り上がった。

朋友会は私より年齢にもかかわらず、ファイトある登山には頭が下がりました。交流会も楽しかったです。ありがとうございました。

